

Vories
cure&care

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>



ヴォーリス
だより

2015年(平成27年)7月1日 第97号

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
周 防 正 史
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有)東呉竹堂(ひがし印刷)

おまえはどうするのだ、と尋ねられたら

ホスピス医 奥 野 貴 史



2014年12月よりホスピス希望館で医師として勤務しています。ホスピス医1年生となって半年、今考えていることをまとめてみました。どうかお付き合いください。

①医療はサービス業であること

これまで血液・消化器内科の専門医として18年、主に悪性腫瘍の診療に従事してきました。しかし昨年夏、ふと迷いが生じ、自分はこれでいいのかと逡巡する日々を送りました。そんなときに一冊の本に出会いました。「負けんとき ヴォーリス満喜子の種まく日々」(玉岡かおる 新潮文庫)。

ヴォーリスさんはグループ、病院の創設者で、かつ優れた建築家とっていました。その来歴、近江兄弟社グループの由来を初めて知って、驚きとともにこれまでの無知を恥じました。「おまえはどうするのだ、神はそう尋ねてくれました。」1917年、当院の前身である近江療養院の建築が始まった年、満喜子さんに、なぜ日本に来たのかを尋ねられ、ヴォーリスさんが答えるシーンです。神の啓示とも言えるこのシーンは多くのヴォーリス関連書物に引用されています。私にも象徴的なシーンでした。

当院の基本理念の一つ「医療はサービス業である」、これほど医療者が求められている立場を簡潔に表現した表現はありません。漠然とわかっていることを、改めて文字にし、かつ実践することは意外と難しいものです。ヴォーリス記念病院で働く人はみな、医療はサービス業だよ、おまえはどうするのだね、と常に問いかけてられているような気がします。いつ、どんな時でも守り続けたい崇高な理念だと思います。

②ホスピスが目指す医療=2030年問題の解決策

在宅療養を希望され、ホスピスを退院した二人のがん終末期の患者さん。その往診から学んだ事をご紹介します。在宅サービスはてんご盛りにして貰い、前半は週1回、後半は求めに応じて往診しました。一人は退院後3週目にそのままご自宅で安らかに旅立たれ、もう一人は自宅で4週過ごしましたが、最期はご家族の希望でホスピスに再入院し2日後お別れとなりました。ご家族、関係スタッフと協力して迎っていた二つの看取り、駆け出しの私にはとても勉強になりました。できる限り自宅で過ごしたい、安らかな最期なら自宅で旅立ちたい、家族が大変な思いをする最期なら通い続けた医療機関かホスピスで迎えたい。がん患者のみならず、まだがんと診断されていない人ですらそう考えている現状です。

病院もホスピスもできるだけ患者さんのご希望に沿うようお手伝いをしたいのです。しかし、今後の医療情勢はそれを許してはくれないでしょう。来る2030年、人口の3割以上が65歳以上となり160万人が死亡します。限られた病床を有効に利用するためには、患者・家族さんの想いを聞きながら、地域の在宅医療を支える機関(ケアマネージャー、訪問看護ステーション、訪問介護、入浴、リハビリなどの各事業所、調剤薬局)と連携して、自宅、サービス付き高齢者住宅、老人ホーム、老健施設、病院に適切に誘導していく必要があります。今回の経験はその未来予想図を描いてくれるものでした。

我らヴォーリス記念病院が、そしてホスピス希望館が、来る時代にむけて中心的役割を果たしていけるよう、微力ながら全力を尽くします。

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今 月 の 聖 句

「あなたは、この言葉を自分の腕と額に付けて記憶のしるしとし、
主の教えを口ずさまねばならない。主が力強い御手をもって、
あなたをエジプトから導き出されたからである。」

旧約聖書 出エジプト記 13章7節



チャプレン 安 部 勉

旧約聖書に次のような記述があります。

「イスラエルの人々が、エジプトに住んでいた期間は430年であった。430年を経たちょうどその日に、主の部隊は全軍、エジプトの国を出発した。」
(出エジプト記12章41節)

今年「戦後70年」を迎えました。その戦の始まりを教科書通りに記すこともできるでしょう。でも「戦争」は宣戦布告に始まるのではなく、そのような道筋がその前からあったことは歴史の事実です。逆に戦後70年というのは法的な意味であり、戦争の中を生きられた一人一人にとって今も戦争での苦しみを負いながらの日々ではないのでしょうか。そう、「終わり」を迎えたのではないのです。戦争の犠牲になられた方を思い、苦しみや悲しみを抱いている方にとって今も「戦時中」なのではないのでしょうか。

その上でなお歴史の区切りは「立ち止まり」「振り返る」ために意味あることとして刻むように思います。

また日本に支配され、侵略を受けた国々にとって「解放から70年」を意味します。しかし、今この時も「新たな時代の始まり」を迎えたとは言えません。それは70年という月日を経ても「和解」へと歩むことのできない歴史理解の深い隔たりがあるからです。

旧約聖書、イスラエルの民は「430年間エジプトの支配の下にあった」と記します。支配のもと奴隷として過ごした民。その屈辱、苦悩は当事者以外理

解することのできない思いでしょう。

イスラエルの民は「神ご自身」がモーセを通して「自由」と「約束の地」を示され導き出してくださったという出来事をもって神への忠誠、感謝、そして犠牲を捧げることを「イスラエルの民であるしるし」と受け止めました。

支配する側にあってその記憶は薄れゆくものです。月日と共に。しかし、痛みと苦悩を負った者にとってその傷は決して消し去ることのできないこととして刻まれています。イスラエルの民にとって「エジプトからの解放」を導いた方こそ絶対である。この出来事を後世まで永遠に語り継ぎなさい。それが出エジプト記を通して示されていることと考えます。

そこに描かれている出来事は映画の題材になるような、時に事実として疑問を持つような描き方がされています。430年という時の刻みも確かめられるものではありません。でもそれ以上に大切なことは「私たちは神によって選ばれ、救い出された民なのだ」という物語の中にある、そう考えます。

苦難の民、それを救うのは神。時に日本の社会、風土、文化にあって理解すること難しいこともあります。解放された民が今、侵略と支配を続けていることに人間の弱さと愚かさを思います。しかし、なおイエス様は「和解」へと導くために遣わされた、その思いの中に「主の平和」を見出すこと、示すことを近江兄弟社は託されているのです。

在宅サービス部門だより

訪問看護 ST ヴォーリズ 小 西 つかさ



私がヴォーリズに勤務して12年が過ぎました。他部署を希望して面接を受けたのですが、ご縁があり訪問看護で勤務させて頂く事になりました。途中在宅を離れた時期がありましたが、その時に在宅看護の魅力を改めて感じ、訪問看護に戻らせて頂き、3年目になります。私はいつも「元気と笑顔を届け、心地良く過ごして頂けるお手伝いがしたい」と思いながら、利用者様のお宅を訪問させて頂いています。在宅には、苦痛に耐えておられる療養者様、そんな療養者様を傍で支え介護されているご家族様が沢山おられます。私は「辛いだろうなぁ」「大変だろうなぁ」と思うのですが、療養者様もご家族様も現実を受け

止め、辛いとか大変という気持ち以上に“お陰様”“ありがたい”と自分の環境や周囲の方への感謝の気持ちを持っておられる方が多く、本当に頭が下がります。そんな利用者様と話をしていると“もっと、もっと”と欲張りな自分に気付かされ、心が洗われる思いです。家族や職場のスタッフなど沢山の方の支えのお陰で好きな仕事を続けさせて頂ける事に“いつもありがとう”の気持ちを忘れず、これからも利用者様に自分の精一杯の看護を届け“ヴォーリズさんに来て貰って良かった”“家で過ごせて良かった”と1人でも多くの方に感じて頂ける様に頑張ります。



ヘルシークッキング 7月

茄子とひき肉のトマトカレー



1人あたり

エネルギー: 380kcal

塩分: 1.2g

★材料(2~3人分)

・豚ひき肉・・・100g

・なす・・・2本

・玉葱・・・中1個

・にんにく、生姜・・・1片

・トマト缶・・・1/2缶(200g)

・水・・・100cc

・固形コンソメ・・・1個

・ローリエ・・・1枚

・ウスターソース、醤油・・・各小さじ1

・砂糖・・・小さじ1/3

・ごはん・・・茶碗2杯(300g)

・サニーレタス・・・適量

・サラダ油・・・小さじ1

・カレー粉・・・大さじ1と1/2

・小麦粉・・・大さじ1

・塩、コショウ・・・少々

★作り方

①茄子はへたを落として小さめの乱切りにし、水にさらす。玉葱、ねぎ、にんにく、生姜はみじん切りにする。

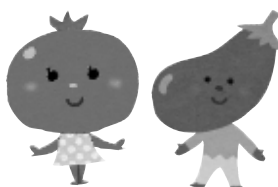
②フライパンにサラダ油を熱し、にんにく、生姜、玉葱を炒める。

③玉葱がしんなりしたら、豚ひき肉、カレー粉、小麦粉を加えて炒め、塩・コショウをふる。

④粉っぽさがなくなり、ひき肉の色が変わったら茄子、Aを加えて蓋をして弱火で10~15分煮る。

⑤器にサニーレタスをしいてごはんを盛り、④をかける。

A



梅雨から本格的な夏にむけた湿度や気温の変化により、食欲がなくなったり、体がだるく疲れが残ったりしていませんか？暑さが厳しくなるにつれ、身体もその環境に対応しようとエネルギーを消耗し疲れやすくなってしまいます。

そんな時、ごはんや麺などと一緒に摂ってほしい栄養素の一つがビタミンB1です。

ビタミンB1は糖質をエネルギーにかえるのに必

要な栄養素で豚肉やうなぎに多く含まれ、にんにくや玉葱に含まれるアリシンと一緒に摂る事で吸収率がアップします。そこに旬の野菜をプラスする事でビタミンやミネラルも一緒に摂る事ができ夏バテ対策に効果的です。今回のメニューはカレールーのかわりにトマトの缶詰を使用しているためカロリーダウンでさっぱり食べる事が出来るので食欲のない方にもオススメです。是非お試しください。

健康について

1病棟 福永真子



私は、身体的な健康に加えて精神的な健康も、とても大切なことだと思っています。

気持ちが落ち込んでいると、身体もしんどいような気がする時があります。私は、音楽を聴いたり友人と話すことで、自分の元気が作られていると思っています。笑っていると、とても幸せで辛い事があっても、また頑張ろうと思えることがたくさんあります。何気なく過ごしている毎日も、笑顔で過ごせることも、私にとっての“健康”なのかもしれないと感じています。身体の健

康については、病気やけがをすることにより、今まで当たり前だったことができなくなり、苦しみを伴ってしまいます。私自身もこのような経験がありました。健康について、今まで深く考える機会がなかったのですが、その時、精神・身体、この二つが健康に関連しているのだと考えました。今ある生活に幸せを感じながら、多くの方に笑顔が届けられるよう、身体の健康につとめていきたいです。



報告1

平成27年度 ヴォーリス記念病院 春季追悼会

訪問看護 ST ヴォーリス 曾 我 菜穂子



さる5月16日、さわやかな風が心地良い土曜日の午後に今年度の春季追悼会が開催され、9家族、22名のご遺族にご参加をいただきました。

今回は昨年までと一部会場を変更し、一部の追悼式は礼拝堂、二部の茶話会はケアハウス信愛館に会場を移して行なわれました。礼拝堂への石段の昇り降りの負担を軽減すべく受付は信愛館にて行い、信愛館の中から礼拝堂へ移動していただきました。

なかには3世代でご参加いただいたご家族もおられたので、小さなお子様の声も聞かれて微笑ましく感じられるなか、神聖かつ和やかに式は進められました。

2部の茶話会にご遺族に6つのテーブルに分かれて着席をお願いし、まず「葉っぱの物語」というDVDを鑑賞していただきました。このDVDは昨年度の当院主催「がんセミナー」で講師をお願いした関西学院大学、坂口幸弘先生にご紹介

いただいたものです。先生のゼミの学生たちがグリーンケア（遺族ケア）を学ぶ一環で作成しました。人が出会ってやがて家族を築き、そして死をもって別れを迎える一生を、「葉っぱ」が四季の移ろいのなか、若葉からやがて枯れて散ってゆく姿になぞらえて、遺族の方の言葉を通して故人を思い起こさせる内容となっています。なかには涙ぐんでご覧になるかたもおられました。DVD鑑賞の後には各テーブルに病院のスタッフも参加し、それぞれに故人を偲んでいただきました。涙の中にも笑いもあり、入院されていた病棟や入院期間に違いはあるものの、皆さんが故人をどれほど大事に思われているのかが伝わる温かい会となりました。最後に「ふるさと」を全員で合唱して会は終了となりました。今回ご参加いただいたご遺族の皆様、いち参加者の私にもとても優しい、大切な贈り物を頂いたように感じられました。ほんとうにありがとうございました。

報告2

勤続30年表彰を受けて

2病棟 山口 久子



病院は開院して今年で97年です。私の30年はヴォーリス記念病院の3分の1に過ぎない。一口に30年とつぶやいてみたのですが、簡単ではなかった30年が次から次へと浮かんできます。

今はなくなりましたが、八幡高校の衛生看護科で幼い頃の夢を実現すべく私の第一歩は始まりました。高校を卒業と同時に准看護師として西宮の昼間定時制の高等看護学校に入学し3年間奨学金を受け勉学に励みました。あの頃は働きながら給料日にプチ贅沢と称して友達とお寿司屋さんで食事をする。そしてイケメン？の板前の兄さんに手相占いをしてもらうのが楽しみでした。そして甲子園球場が近くて高校球児達の寄宿舎が近くにあり球児達の熱い戦いに声援を送ったものでした。

学生の時は試験・レポートに明け暮れる日々がつらいと思えることが多かったのですが、今思えば学生の頃がこれから待ち受けている様々な出来事より遙かに幸せで、甘えていたら良い時期でした。

運良く看護師の国家試験に合格。勤め出した時、いつまでも学生気分では居られない現実・時にはやめたい・自信喪失・看護師という仕事に向いていない？など、色々な思いがありました。

やがて結婚そして離婚。子供を抱えて途方に暮れていたとき、

衛生看護科の先生（当時は病棟師長）が私に声を掛けてくださり、そこからヴォーリスとの縁のはじまりでした。当時は看護師不足による夜勤が殆どで、日勤は週1日という過酷なものでした。環境は緑豊かであり、のどかな田園風景が広がり桜の季節ともなれば階下を見下ろせば桜の絨毯、それに桜のトンネル、患者さん達は殆どが結核の病であり、世間とは閉ざされた中でいろんなイベントを企画し楽しみながら療養生活を満喫されていました。

患者さんと共に歩んでいた時代、患者さんと共に世間と戦っていた時代、やがて結核患者の減少に伴い結核病棟も閉鎖。今はとても懐かしいですが、患者さん達が結核病棟閉鎖の反対運動をされたことです。署名運動をして県に抗議文を提出しましたが、残念なことに最後の患者さんを他病院に送り出しました。

建物はヴォーリス建築。結核患者には大切な陽光と換気・栄養を考えた三角窓、異国情調が伺えるものでした。

私の好きな看護師という職業が私をここまで支えてくれたこと。子供がいたからこそ、頑張れたと思っています。また、丈夫な身体に生んでくれた親に感謝、そして同僚の暖かな労わりがあったからこそ続けてこられました。

報告3

『勤続30年表彰』を受けて

医事課 奥田 典子



つい昨日のようにとすると大袈裟ですが、あっという間の30年でした。

自分に自信が持てず、いつも心をバリアで囲んで、自分から歩み寄る事のできない、「私が悪いんじゃない、私を理解しない周りが悪いんだ。」と、人のせいばかりにしているような小心者の小娘でした。その私が30年間勤め続ける事ができたのは、先輩方の指導や励まし、何よりも認めてもらえる喜びを教えてもらったからだと思います。感謝しております。

仕事上での一番大きな出来事は、看護部からの事務部（医事課）への移動でした。私が医事課で何ができるのか、何をすればいいのか、自分の立ち位置に対して、納得（受け入れる）

するまでかなり時間を要しました。正直、今も模索中です。

またプライベートでは、子供の弁当作り、塾の送迎と受験生の母を満喫しており楽しんでます。

なかなか新しい事が覚える事が出来ず、三歩歩けばすぐ忘れてしまい、若い同僚に迷惑かけまくりのこの頃ですが、おばちゃんパワーで頑張りたいと思います。

今年でヴォーリス記念病院が開院して97年になります。100年までは勤めたいと思っています。これからもよろしく願いいたします。

報告4

『新入職員歓迎会』に参加して

四月に入職し、ヴォーリス記念病院の一員として働かせていただけて早くも二ヶ月ほど経ちました。新人として働いて、まだ慣れないことがたくさんあり、日々緊張と疲れがある中で新入職員歓迎会と言う場を作って頂き、少しの時間ではありましたが楽しむことが出来ました。

歓迎会では、席はくじ引きで決めることになっており、最初は「先輩方や他の病棟の職員と一緒にいるなんて何を話したらいいのだろう」と、緊張もありましたが実際には他の病棟の職員と一緒にいることで、楽しいことや辛いこと、先輩方の経験談を聞くことでとても楽しく会話ができて、同じ病棟の職員とも普段は話すことのできない話を和気藹々と話すことができて関係が少しでも縮まったように感じました。このような機会は滅多にない

3病棟 中村美月



ので、とても良い時間を過ごす事ができました。

また、今回私は「チーム医療」というテーマでグループ劇をさせて頂きました。劇は新人オリエンテーションの中でさせて頂いたもので、今回再び歓迎会で行うことによってオリエンテーションの中で、皆で考え合った「チーム医療」を見つめ直すことができました。そして、改めてチーム医療を行う中での連携の大切さを学ばせていただきました。

今回の歓迎会では、緊張する場面もありましたが劇をさせて頂いたり、先輩方の話を聞くことによって勉強になったこと、見つめ直すことができたことを現場で実践して行きたいと思いました。

報告5

『新入職員歓迎会』に参加して

この度は、私たち新入職員のために盛大な歓迎会を開いて頂き、本当にありがとうございました。院長をはじめ、諸先輩方から、お祝い・激励の言葉を頂き、身の引き締まる思いでした。また、会場には、お忙しい中、大勢の方々に集まって頂き本当に感謝しています。

この歓迎会に参加させて頂くにあたり、私には不安なことが1つありました。それは、「私たちが思う理想の職場」という劇の発表をしなければならなかったことです。私のグループは、新人職員研修会で発表した劇が「フレーム賞」として表彰されたため、今回の新入職員歓迎会で発表することになりました。賞を頂いたことはとても嬉しかったのですが、それ以上に、大勢の方々の前で劇をすることの緊張や不安の気持ちが大きかった

1病棟 久保永子



たです。そんな中、その劇もグループのメンバー協力のもと、無事に終えることができたので良かったです。

新入職員の抱負・決意表明では、同期の職員がそれぞれの思いを発表しました。私は、1日でも長く看護職を続けられるように努力していきたいです。

私は、社会人経験がありますが、看護師としては新人です。分からないことばかりで先輩方に迷惑ばかりかけています。なので、1日でも早く仕事を覚えられるよう、精一杯努力していきたいです。今後とも、ご指導のほど宜しくお願い致します。

今日という日の感謝の気持ちを忘れることなく、これから初心を大切に精進していきたいです。

報告6

第226回 ミュージックタイム

さる2015年5月23日、「第226回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は酒井孝之さん、小百合さんの笛の演奏を楽しみました。心暖まる優しい音色、優しさに包まれた一時でした。



ここで見つけよう、あなたの未来

病院見学会開催

7.26日 8.9日

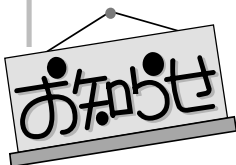
【対象】 看護師有資格者 看護学生 看護学校入学希望者

※各開催日の一週間前までに申込下さい。
JR近江八幡駅から送迎あり

詳しくはホームページ又は、お問い合わせ先までご連絡下さい。



公益財団法人 近江兄弟社 お申し込み・お問い合わせは
ヴォーリス記念病院 担当：櫻井・岡田
滋賀県近江八幡市北之庄町492 0748-32-5211
【mail】 kikaku@vories.or.jp 【URL】 http://www.vories.or.jp/



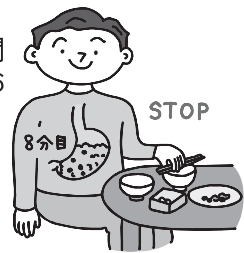
▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 7月23日(木)12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)

講 師 看護師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



【新規採用】

7月1日 北岸 智美 管理課
7月1日 的場 昌子 2病棟
7月1日 北川 実有 訪問看護ST



働く仲間を募集しています！

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211 (担当: 澤谷)

近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成27年度)

回	月 日	内 容 (仮)	講師予定
2	7月23日(木) 14:00~16:00	「血压のはなし」 「防ごう高血圧」	ヴォーリス記念病院 院長補佐 三ツ浪 健一氏 管理栄養士 徳岡 貴美氏
3	9月24日(木) 14:00~16:00	「住みよい街づくり」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵氏
4	11月26日(木) 14:00~16:00	「折り紙教室 PART X」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康氏
5	2月25日(木) 14:00~16:00	「自宅でできる簡単体操」	メディカルフィットネス トレーナー 久保 大志氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員: 30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧 Y M C A 会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 2回目 7月21日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、右記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492

ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内

ホームヘルパーステーション

担当 生駒

(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

メディカルフィットネスセンター

会 員 募 集

あなたの健康づくりをサポート

安心して楽しく運動して頂けるよう、
からだの状態を評価し、お一人お一人
の運動メニューを提供致します。

受付時間 9:30~17:00
利用時間
月・水・木・土/ 9:30~17:00
火・金/ 9:30~20:00
定休日 日曜日・その他(年末年始など)

近江八幡市北ノ庄町492
ヴォーリス老健センター 1階内
TEL 0748-32-5540

地域連携課

介護・入院・施設の入所等で、
お困りのことがあり
ましたら、お気軽に
お越しください。

本館 2 階の
エレベーター前です。



“患者サポート支援窓口”の設置

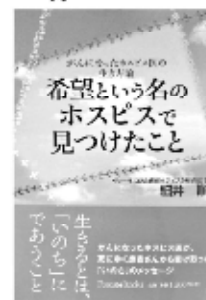
外来診療・入院生活・治療についてお困りのことがござい
ましたら患者サポート支援窓口までご連絡下さい。

(担当 岡田・加藤・村松)

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の
ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院内ホスピス(希望館)長 近井 雅典氏の著書が出版されました。

窓口返却のみ特許!! 『先生の直筆サイン入り』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、図書課受付にてお問い合わせ下さい。

ヴォーリス召天五十年 記念出版のご案内

第2弾

『神の国の種を蒔こう』キリスト教メッセージ集



『隣人愛に生きたヴォーリスの生涯』から学んでいる人々

既に完結したと聞いて、公益財団法人近江元善堂の運営社より

2014年5月1日初版発行した。

ご購入を希望の方は、図書課受付にてお問い合わせ下さい。

価格 2,150円(税込)